



頑張る川尻人

河陽新聞は、ガンバル
少年少女を全力で応援します！



国記 記者
宮田 あき (2町内)

暑い夏がやってきました。

東京オリンピックの熱気もさながら、子どもたちの夏もアツイ！ここでは、県予選を勝ち抜き全国大会への出場権を獲得した川尻っ子たちを紹介します。

熊本学園大学付属高校3年生の堀尾奏真さん（2町内）は、10月に三重県で開催される『とこわか国体』ボート競技に、熊本県代表として出場されます。日焼けした精悍な顔つきの堀尾さんは、ボート競技を始めたいと強豪校である同校へ進



学。経験と努力を積み重ね、見事県代表メンバーの座を勝ち取りました。“少年男子 舵手つきオドルブル”という、一艇のボートに舵手が1人、漕ぎ手が4人乗って順位を競う種目に出場。『優勝に手が届く位置にいると思うので、チームで協力し、力を出し切って優勝したいです！』と意気込みを語ってくれました。

次に紹介するのは、城南中学校3年生の吉岡良磨さん（10町内）。熊本県中学校総合体育大会 柔道66kg級で優勝し、8月に群馬県で開催される全国中学校柔道大会に出場。吉岡さんは5歳から柔道を始め、柔道歴はすでに10年。中学生ながら筋肉バキバキ。腹筋は6つに割れてます、たぶん（笑）。



『開催されることに感謝し、一戦一戦集中して一つでも多く勝てるように頑張ります！』と、なかなか謙虚な姿勢。コロナ禍で思うように練習ができないそうですが、なんとか頂点を目指してもらいたい！と思います。

最後に紹介するのは、城南中学校3年生の中村満幸さん（15町内）。5歳で水泳を始めて10年目、熊本県及び九州中学校水泳競技大会において、400mと1500m（ともに自由形）で2冠を達成！しかも、県大会の1500mは、なんと大会新記録での優勝。全国でも上位のタイムをたたき出し、千葉県で開催される全国中学校水泳競技大会に出場します。『他の選手に負けたくないの、きつけれど毎日練習を頑張っています。初めての大舞台で全国のライバルたちと競うのが楽しみです。川尻校区の皆さんに応援していただけると嬉しいです。』と照れくさそうに語っていました。



子どもたちの頑張りはそのまま川尻の活気につながる気がします。今回詳しくは紹介できませんでしたが、城南中サッカー部も中体連県大会ベスト4と大健闘。川尻の未来はとても明るい。今回紹介した三人も、全国大会で活躍してくれることでしょう。どうぞ応援よろしくをお願いします。河陽新聞はがんばる川尻っ子たちを全力で応援します！



川尻うまかもん vol.6



国記 記者
水野 大 (9町内)

取材店 御菓子処 天明堂

今回の川尻うまかもんは連日猛暑が続くこの季節にぴったり。創業240年の老舗和菓子屋、天明堂のかき氷です。その名も「自家製くずきり和風蜜かき氷」。くずきりを氷の上に乗せるという和菓子屋さんならではの斬新なアイデア。シャキシャキ氷に冷やされたくずきりのモチモチ、ツルツと食感がとても新感覚！優しい甘さの黒糖蜜にあんこと練乳をたっぷり絡ませて食べる「トッピング全乗せ」がボリューム満点でオススメです。

黒糖の他に梅や抹茶味も楽しむことができますので、家族や友人とシェアしてみるのもいいですね。店内奥の喫茶で飲食することもできますし、テイクアウトで購入することもできます。さらにオンライン販売もスタートしました。

詳しくは



自家製くずきり和風蜜かき氷
（蜜は黒糖・梅・抹茶）
¥660（税込）
トッピング
（練乳・自家製あずき）
¥55（税込）



住所：熊本市南区川尻1丁目3-39-2
TEL：096-357-9225
営業時間：9：00～20：00
店休日：定休日なし（元旦のみ）

編集後記



国記 記者
谷本 武士 (7町内)

今回は、川尻校区の全員に、川尻の偉大な功労者である三角保之氏を知っていただきたく特集させていただきました。私も小学四年生の時に三角先生を中心とした地域の方々に菊池少年自然の家へ連れて行ってもらい、ゲンコツを打たれたのを今でも思い出します。打たれた理由は忘れましたが…（笑）その後、私も三角市長のように川尻に貢献したく、青少協のスタッフとして自然の家で大学生の時に活動させてもらったのが地域との関わりのスタートとなり、今は自治協議会の広報部会として川尻に恩返しさせてもらっています。これからも河陽新聞は、尊敬している三角先輩を真似て「人と地域とお酒を愛しながら」川尻校区の素敵な人、素晴らしい活動や出来事を紹介させてもらいたいと思います。

読者プレゼント

『サブリーポップコーン』
トリュフソルト
ポップコーン 3名様



『御菓子処 天明堂』
自家製
くずきり和風蜜かき氷 3名様



『河陽新聞』をお読みいただき、ありがとうございます。『サブリーポップコーンの”トリュフソルトポップコーン”』を抽選で3名さまに、『御菓子処天明堂の”自家製くずきり和風蜜かき氷（黒糖、梅、抹茶の3種類から1種）＋トッピング全乗せ”』を3名さまにプレゼントいたします。

ご応募は kayou.shinbun@gmail.com に氏名・住所・連絡先・今号の感想を記入してメールしてください。当選者の方にはご案内を返信いたします。（商品は手渡しになります。詳細はご当選者様にお送りします） こちらのQRコードから送れます→



平成から令和へ。川尻の“いま”を伝えます

河陽新聞

Vol.32
2021.8.15
KAWASHIRI AREA
NEWSPAPER
KAYOU SHINBUN

川尻の 偉大な功労者 三角保之氏



昭和15年10月23日～令和3年7月8日（80歳没）

学歴	昭和31年3月 昭和34年3月 昭和38年3月	熊本市城南中学校卒業 熊本県立済々黉高等学校卒業 芝浦工業大学電気工学科卒業
	昭和38年4月 昭和41年3月 昭和41年12月 昭和49年8月 昭和53年8月 昭和54年4月8日 昭和58年4月10日 昭和62年4月12日 平成3年4月10日 平成6年11月20日 平成10年11月8日 平成14年12月2日	有明製鉄（株）入社 同社解散により退社 熊本県総務部管財課入庁 熊本県総務部土木部建築課 熊本県総務部土木部建築課退職 熊本県議会議員当選（一期） 熊本県議会議員当選（二期） 熊本県議会議員当選（三期） 熊本県議会議員当選（四期） 第27代熊本市長当選（一期） 第28代熊本市長当選（二期） 落選により退任

党歴	昭和54年 昭和58年 平成3年	自由民主党熊本県連 自由民主党熊本県連 自由民主党熊本県連	青年部長 交通通信部会長 政務調査会長
	平成6年 平成7年 平成9年 平成10年	熊本市市長会会長 九州市長会副会長 九州市長会副会長 中核都市市長会会長	
市長会歴	平成4年 平成16年 平成18年 平成23年 平成26年 平成29年 平成29年	川尻校区青少年健全育成協議会名誉会長 熊本城顕彰会会長 熊本県身体障害福祉団体連合会名誉会長 熊本県神社総代連合会会長 一般社団法人しんしょうれん熊本代表理事 衆議院議員野田毅後援会会長 社会福祉法人慈雄会理事長	

三角保之氏を語る

幼稚園からの同級生の玉真勇一さん、米澤紘二さん、親交の深かった中村亮一さん、吉村圭四郎さん、村田幸博さんに公会堂に集まっていただき、三角保之さんとの思い出を語ってもらいました。



酒蔵祭り

～小学校時代

米澤「小学校は4クラスあったが、6年間一度もクラス替えがなくずっと一緒だった。彼は入学当時、体が弱かったが、高学年になった頃には背丈も伸び、たくましくなってクラスのリーダーでまとめ役の人気者だった。6年生の頃、クラス男子全員で当時の相撲力士の呼び名を使って番付表を作り相撲をとった。そのまとめ役として率先して活動し、みんなを楽しませてくれた。ちなみに彼は横綱「千代の山」だったと思う。」

～青年時代

米澤「防水時計が流行った時、仲間と飲んでいて、一人が防水時計を自慢していたので、彼が「かしてん!」と時計を受け取った瞬間、ビールの中に落とした。みんな「おおお〜! お〜お!」となったが、彼は「防水だろう?」と笑っていた。このような話はたくさんあって、話したらきりがない。発想豊かで、茶目っ気とユーモアがあり、周りを明るく楽しくして、自然と廻りに人が集まってきた。」

青少協について

村田「先日青少協で川尻小の5年生をキャンプに連れて行ったが、青少協とキャンプを始めたのは三角さんですが、どのような目的で初められたかご存じですか?」

玉真「青少年の育成が目的で、子供達の茶碗の持ち方、風呂の入り方、布団の敷き方などしつけがなっていない子が多かったのを、それを地域で直していこうと始めた。最初は1泊2日で行っていたが、親睦を深める為には時間が足りず、学校へお願いして2泊3日になった。」

村田「なにより継続されていることがすごい! 最初の目的をもう一度伝えていきましょう。」

玉真「ちょっとまた菊池にいったみようかね?」

村田「青パトに乗って行きましょう!」

政界へ

中村「三角さんと交流ができたのは政治家になられてからで、思い出に残っているのは、10町内は川に囲まれていて、水害の心配が絶えない。当時70馬力の排水ポンプがあったが、住宅が建つようになり、水田や遊水地がなくなり、排水ポンプ能力不足となった時、市長にお願いしに行こう!と会いに行った。普通は門前払いが多いが、直接あって、関係職を呼び、話し合いをしてくれた。しかも、こちらは能力アップのお願いに行ったのだが、「能力アップしてもあかん。作り直そう!」と言い、現在の排水ポンプ場ができた。とても豪快な人だと感じた。後日、三角先生に足を向けて寝られんと冗談で言ったが、それくらいのこと地域の為にしてくれた。」

玉真「市長時代の96年に中核市への移行を実現し、全国中核市と連絡会を結成し「サミット」を開くなど、将来の政令市移行を視野に入れた活動に力を注いだ。97年度には熊本城復原整備計画をまとめ、「一口城主」制度を発案したり、高齢者や障害者の市電バス優遇証「さくらカード」を始めたり、全国発の超低床電車を導入と彼のアイデアに驚きの連続だった。3期目は川尻のことをせないかね〜と話していた。」

中村「もう1期していたら、川尻はかなり変わっていただろうね。」



玉真「市長退任後も、熊本県身体障害者福祉団体連合会の名誉会長や熊本城顕彰会の会長などを歴任し、市政発展に貢献したと思うと生前の功績が偲ばれる。」

吉村「市長退任して、数年たった後に、川尻の事で役所に相談に行ったら、「三角から伺っています」「〇〇の事は聞いております」など、各所に川尻への思い伝えておられ、物事がスムーズに進むことが多かった。退任されてからも動いてくれて、影響力がある偉大な人だなと感じた。」

米澤「彼の生き様を振り返ってみると、常にアイディアマンの人生だったと言えるのではないかな。ユニークな発想で人を驚かせたり喜ばせたりして周囲を楽しい雰囲気にすることが好きでその能力がとてもたけていたと思う。「熊本城一口城主」は、よくこんなことを思いついたと只々驚きと感動だった。実現しなかったが、市電を熊本空港まで伸ばして、のどかな雰囲気を楽しんでもらおうという構想や、水道水の件では、阿蘇山に降った雨水が長い年月をかけてできた地下水をトイレに使うのはもったいないから中水道（上水道と下水道の間の水）をつくろうという発想。いつの日が実現してほしいと思っている。」

村田「ソフトの面で、まちづくりを市内全体80校区に進めてこられ、仕組みを作ってこられた。子供たちを支援する仕組みに校区の外部講師（地域のおじさんおばさん）をいれていこうというのをつくられた。」

玉真「南部地区市民の会が各種団体長を呼んで会議しているのを見て、「この会はよかね〜」と言って、各校区に作ろう!」と言い、現在の各校区の自治協議会ができあがった。」

吉村「それは青少協も同じで、最初は白川校区にあり、川尻校区になかったのですぐ作られ、各校区に広めたのも三角さんだった。」

米澤「いいと思ったら、すぐ広げようとする行動力とそのスケールが大きかったね。」

家族について

中村「奥さんを大事にする人だった。奥さんがケガをした時は、送り迎えをしたり、どこに出かけるにも奥さんと一緒に仲が良かった。」

米澤「居酒屋での飲食の会にも奥様と参加され、御夫婦を囲んで話がはずんだ。たま〜に彼がはめをはずすことがあり、奥様の笑顔のペナルティ指導を受けていた。そんな二人の様子を見ながら、内助の功を改めて感じた。」

村田「コロナが落ち着いたらみんなで集まって飲みながら三角さんの話をもっとしたいですね。」

米澤「飲み会の場に彼がいると楽しかった。飲むのも豪快でよく飲んだね〜。そして、よく遊んだ。楽しかった〜。」



記者
古川 亮 (10町内)

話は尽きず、コロナが落ち着いたら飲みながら語り合うことにして終わった。自分も晩年に少し話たり、飲む機会があったが、今回皆さんが口をそろえて言われるように、豪快で、茶目っ気がありユーモアのある時間を楽しませてもらいました。三角さんの寝室に入った時「俺の寝室に入った男はお前達が初めてぞ!」と笑顔で言われたのをよく覚えています。



南部地区市民の会会長
村田 幸博

やっぱ川尻ば大切にしよらしたね。
そんな人柄に惹かれてオレは三角さんの
応援隊長ばしよったったいね。

三角さんはわたしの兄と同級生で、小さい頃はよく一緒に遊んでもらいました。あんまり大きな声で言えないことが多いのですが・・・三角さんと兄が中学生だったか、ある日、学校帰りに貝堀に行くぞ!と言って、うちの横(加勢川沿い)から舟に乗って下流へ下ったのはいいが、当然帰れず(笑) 探しにきた大人たちにしこたま怒られた記憶があります。
勉強もしっかりされていましたが、よく遊んでもいました。

今となっては楽しい思い出ばかりです。
三角さんは、川尻をととても大切にされていました。彼の人柄と川尻愛に惹かれて私は三角さんの応援隊長を長年務めました。まちづくり=教育という信念のもと、20年後に実を結ぶと信じて、一緒にまちづくりに力を注いできました。
かけがえのない人物を失ってしまいましたが、三角さんの想いは次の世代に受け継がれていると感じます。



瑞鷹 (株)
代表取締役会長
吉村 浩平

郷土川尻の大スターの
温容な笑顔にひそむ機敏な決断力、
そして、根底にあるのは愛の心です。

郷土川尻の大スター三角保之氏。その温容な笑顔にひそむ機敏な決断力、比類なき実行力に生み出された、政治上の数々の輝かしい業績については皆の周知のことである。
そんな川尻の大スターの根底にあるのは愛の心であったと思う。郷土川尻を愛し、人を愛し、人との交流を愛し、そして酒を愛し、そこに醸し出される独特の三角ワールドは、人の心

を捉えてやまない、誠に稀有な人柄であった。そこには郷土川尻の歴史的背景が、多分に含まれると思う。
現在は、もちろん歴史的背景に大スターの活躍も含まれており、後輩達にも着実に受け継がれていると言える。
これからは郷土川尻については後輩達に任せて、どうか空から好きなぬる爛をなめながら私どもを見守ってください。



瑞鷹 (株)
代表取締役副会長
吉村 圭四郎

市内の他の多くの校区にも設立を呼びかけて、
熊本市の連絡協議会の発足に多大な貢献をされました。

三角保之さんは、熊本市が青少年健全育成協議会(青少協)を設立するにあたって深く関わりました。青少協は、始め白川中校区で自然発生的に結成された民間の組織ですが、今から四十年前にこれを熊本市の各校区で設立して全市全校区に広めようという話になりました。当時熊本市選出の県議であった三角さんもこれに賛同し、旗振りの先頭に立ちました。

そして市内の他の多くの校区にも設立を呼びかけて、熊本市の連絡協議会の発足に多大な貢献をされました。さらに、地元でも川尻青少協を立ち上げ初代会長となり、自治会に働きかけてその賛同を得て校区の全世帯から会費を頂き、他校区の手本となるような今も続く小学生のキャンプ事業を始められました。



古川設計室
古川 保

常に全体の利益を考えて、財政を考え、
ハード(建造物)よりソフト(動く人、内容)の充実を図り、
住みやすく働きやすい環境を造ろうとする人であった。

為政者は頂点に立つと象徴的な箱モノを作りたがる。そして結果的に借金を膨らませてしまう事がある。そういった意味では、三角さんは「城をつくらなかった政治家」と思う。
常に全体の利益を考え、ハード(建造物)よりソフト(動く人、内容)の充実を図り、より住みやすく働きやすい環境を造ろうとする人であった。とりわけ熊本市において、熊本城一口城主制度を創設した功績は大きい。この制度があった

からこそ、地震後熊本城の復興が進められていると言っても過言ではないだろう。
個人的には、思慮深く謙虚なひとであったと思う。人格者であった彼は、当時の部下たちにとっても慕われていたとも聞く。三角さんは、歴代政治家でも稀に見る偉人であったとわたしは思う。偉人を失った喪失感は大いいが、三角さんの心意気や信念は、今も確かに行政へ受継がれていると感じている。



サブリーポップコーン代表
佐分利 太介

佐分利印刷の跡地に
『くまもと工芸会館』を建てていただき、
今でも前を通ると色々な思い出がよみがえります。

本当に三角先生には、お世話になりました。私の人生の歩みは先生の政治活動と共にありました。1979年に県議に初当選されその後熊本市長となられる際のポスター、名刺、封筒と佐分利印刷として本当にお世話になりました。本来であれば佐分利印刷でこの御礼を述べるのは、私ではなく祖父、父、叔父であると思いますが、みんな天国にあります。さぞかし賑やかな宴が開催されている事でしょう。

佐分利印刷の跡地に『くまもと工芸会館』を建てていただき、今でも前を通ると色々な思い出がよみがえります。選挙の際には家の中や窓に先生のポスター、立て看板があり、その光景が心に焼き付いております。また、私は三角先生の次女のゆかりさん、その夫の長浩さんと同級生であるのも何かのご縁でありますので、今後とも川尻の為に先生からご指導いただいた事を活かして微力ではありますが、川尻を盛り上げて参ります。



川尻校区婦人会会長
川尻校区社会福祉協議会会長
植村 米子

お酒を飲み交わしながら、議論したことも度々ありました。
私が少し横着なことを言う度に、
「米子ちゃん、あんたのおしめを取り替えてやったこつも、あつとぞ」といなされました(笑)

思い起こせば、戦後間もない頃育った私達は、大人は忙しく、近所のお兄さんや、お姉さんが頼りでした。三角元市長との関わりも同じ町内でみんなと一緒に遊んで頂いたのが始まりです。社会人となり、婦人会で素晴らしいお人柄の恭須子夫人と出会い、三角元市長とはPTAで再会し、その後様々な活動を一緒にさせて頂きました。お酒を飲み交わしながら、議論したことも度々ありました。私が少し横着なことを言う度に、「米子ちゃん、あんたのおしめを取り替えてやったこつも、あつ

とぞ」といなされました(笑)
そして熊本市長になられても、いい意味での柔らかいユニークな発想と誰でも分け隔てなく対応して頂ける政治姿勢は変わられませんでした。このような庶民的で、誰からも慕われる大市長は、今後二度と現れないのではないのでしょうか。
婦人会や社会福祉協議会にも、いつも温かいお言葉で、篤き応援をして頂き、筆舌尽くしがたい程お世話になりましたことをこの場をお借りいたしまして感謝申し上げます。



川尻商店街
連合会会長
福山 龍太郎

木村政彦生誕百年記念実行委員長を引き受けて頂き、
木村政彦さんとのお酒に纏わるエピソード等を
楽しくご披露いただきました。

2017年5月、三角保之元市長のご自宅を、川尻自治協議会の玉眞勇一会長（当時）と青年協議会の林琢磨会長と訪ねて、川尻校区の各種団体や柔道関係者や地元有志で木村政彦生誕百年記念実行委員会を立ち上げ、熊本地震で大きな打撃を受けてしまった川尻を盛り上げたいのでは是非とも実行委員長を引き受けていただきたい旨をお伝えすると、木村政

彦さんとのお酒に纏わるエピソード等を楽ししくご披露いただき、応接室に掲示された木村政彦さん直筆の三倍努力の書を指さしながら、「この書を頂いたからには受けないわけにはいかんばい」と快諾いただき、木村政彦生誕百年記念の事業を盛大に執り行うことができました、ありがとうございました。
三角保之様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



川尻校区
自治協議会会長
自治会連合会会長
米満 吉重

人としても器が大きく、周りを包み込むような
目配りの利く川尻校区を代表する誇れる大先輩に
お礼を申し上げます。

人の為、世の為と尽力された三角元熊本市長のご功績等については、新聞等で数多く報道されている所ですが、地元川尻にも川尻武道館・南部中央団地・万年青会館・くまもと工芸会館や野田排水機場の建設をはじめ各町内や諸団体ともに多大な貢献をいただいております。
また、人としても器が大きく、周りを包み込むような、目配

りの利かれた川尻を代表する誇れる大先輩でした。
今後校区におきましても先生の残された功績を汚すことなく、子どもさん、高齢者の方々、また現役世代から「川尻に生まれてよかった」、「川尻に住んでよかった」と言われるような地域活動を目指し、全町内・全団体で構成する自治組織を活かし、一致団結して取り組まなければと肝に銘じています。



川尻校区青少年
健全育成協議会会長
川尻小愛育会会長
森 長浩

義父三角保之から引き継いだこの事業を継続し、
さらにその意義を深められるよう努力したいと思います。
次の世代に立派に引き継ぐ役割を果たしていきたい。

昨年度新型コロナウイルスの影響で中止とした青少協キャンプ、今年度は5年生と4年生の2学年で開催する予定を立てました。40年余り続くこの素晴らしい事業に、全ての年代が参加できる機会を与えたかったからです。

残念ながら7/31～8/2に予定していた4年生の分は再度コロナで取り止めとなりましたが、5年生については一泊でしたが開催することができました。お手伝いいただいた地域の皆さん、開催に理解を示していただいた学校に感謝申し上げます。

先月逝去した義父三角保之が立ち上げた川尻校区青少年健全育成協議会（川尻青少協）、たまたま今年度から前任の吉村圭四郎会長からバトンを引き継ぐこととなり、これまではPTA（愛育会）の立場から協力していたところを、事業の主催者、共催者としてさらに深く関わることになりました。

子供たちに社会のルールやマナー、他者との助け合いを学ぶ機会を与え、その健全育成に寄与することが青少協の目指すところであり、この青少協キャンプは長年菊池少年自然の家での集団宿泊と野外活動でその目的を果たしてきました。

この事業の素晴らしいところは、子供たちだけでなく大人にも学ぶ機会を与えてくれるところです。二泊三日ならば登り下りの激しい山道子供たちを見守りながら、一緒に歩く。川に入る。歩数にして約4万歩です。子供たちと一緒にだからこ

そ大人も強い責任感を持って活動できることに気づかされます。そしてこの活動をサポートしていただく方々は、事業開始当初からお手伝いいただいている地域の皆さんはもちろんですが、最も素晴らしいのは、自らが川尻小4年生の時にこの活動に参加した経験を持つ方々が、大人になった今この活動に参加し、子供たちのお世話をしてくれているという事実です。子供たちを学校と家庭と地域で育てる、現代では理想論としてだけ語られがちになることを、この事業は奇跡的に実現できていると感じます。また、多くの方々の助けをいただきながらこのような学びや発見を残してくれた義父は、あらゆる面で本当に大きな人だったなとあらためて感じるところです。

今後もこの事業を継続し、さらにその意義を深められるよう努力したいと思います。一つのことが100年も続けば立派に伝統になるでしょう。そこに繋がるよう、次の世代に引き継ぐ役割を果たしていきたいと考えています。



寛仁親王殿下御参拝記念 平成18年3月31日 熊本大神宮



高門宮憲仁親王殿下ご来熊 平成11年熊本国体

川尻の偉人 三角保之氏のご冥福を心よりお祈り申し上げます
河陽新聞 編集部一同